ちちぶ

市議会だより

2026.11.10
第86号



「わたしたちを見守る武甲山」
秩父特別支援学校高等部1年生　嶌田　帆花さんの作品

目　次

9月定例会の議案質疑 …… 2
議案の結果 …… 5
委員会報告 …… 6
一般質問 …… 8
12月定例会予定 …… 13

発行：秩父市議会　編集：市議会だより編集委員会　〒368-8686 秩父市熊木町8-15　☎0494-25-5224

９月定例会の議案質疑等の内容

９月定例会（８月26日から９月16日まで開催）では、市長提出議案24件のほか、議員提出議案１件を審議しました。質疑・討論の主な内容は下記のとおりです。議案の結果については、５ページをご覧ください。

7年度一般会計決算

問　市税の不納欠損額が6年度から23・3％増加した主な理由と、収入未済額約1億4953万円に対する滞納整理の状況は。

答　主な要因は、固定資産税で財産調査の結果、無資産として即時消滅処理した高額案件があったことなどによる。滞納者には生活状況や納付能力を確認し、一括・分割納付や滞納処分の停止など適正に対応している。７年６月からは県のモデル基準を参考に作成した「秩父市分割納付取扱モデル基準」に基づき対応している。

問　ふるさと納税寄附金が前年度と比較して6100万円増額された要因は。また人気の高い返礼品は。

答　返礼品として人気の高いウイスキーの量を確保できたことが大きな理由である。また、７年10月からふるさと納税制度が改定され、９月に駆け込み需要があったことも要因と考えられる。人気の高い返礼品は、ウイスキーの他、いちご、掛け敷き布団、楽天トラベルクーポン等が上位に上がっている。

問　市営バスや地域乗合バスなどの利用状況と、利用者1人あたりの市負担額は。また、地域公共交通計画に基づく7年度の主な取り組みは。

答　利用者１人あたりの市負担額は、市営バス川又線が１万７８３円、浦山線が３３７６円、お出かけ楽々バスが１２７６円、地域乗合バスが８９４円となっている。７年度は大滝地域で、診療所送迎バスへの患者以外の混乗や、三峰口駅まで運行するドア・ツー・ドア型交通の実証実験を行い、８年度から本格運行している。

問　女性職場環境改善補助金の利用状況と、具体的な改善内容、女性の採用や就業継続への効果は。

答　７年度は７事業者に計６０５万７千円を交付し、女性専用トイレや更衣室の整備、育児・介護休業制度の拡充などに活用された。現時点では新たな採用につながった事例は確認できていないが、職場環境が改善したとの声が寄せられている。

問　ちちぶ花見の里の利用状況と、施設管理の内容および課題は。

答　春・秋のそばの花見祭りや荒川新そばまつりなどを開催し、年間のイベント来訪者は約８６５０人であった。施設管理では、イベント運営や草刈り、景観管理などを委託している。イベント開催時以外の利用が少ないことを課題と認識しており、今後、利用率向上に向けて検討していく。

問　森林環境譲与税の活用状況と、森林整備や林業担い手対策などの主な成果は。

答　７年度は森林環境譲与税を活用し、森林の境界測量や資源調査、間伐、林地台帳の整備、ナラ枯れ対策などを実施した。林業就業者対策では高校生への講習や現場見学を行い、４人が市内林業事業体へ就職したほか、地域おこし協力隊４人への技術指導など、担い手育成にも取り組んだ。

問　ドローンの利用実績と、操縦者技能証明取得への支援状況、活用による効果は。

答　７年度は、市営住宅や市有林の点検、災害時の被害確認、祭りの警備、不法投棄調査などで18回飛行した。また、国家資格である無人航空機操縦者技能証明の取得について、４社７人に計47万８千円を補助した。従来方法との数値比較は行っていないが、安全性などの面で一定の効果があると考えている。

問　小学校入学祝金の支給実績と、ランドセル購入支援から使途を限定しない祝金へ変更した効果は。

答　７年度の対象児童３３６人全員に、一律５万円を支給した。交付率は６年度の87・５％から７年度は１００％となり、市内でのランドセル購入条件がなくなってよかったとの声も寄せられている。制度変更により、より利用しやすい子育て支援につながったと考えている。

問　全国植樹祭記念事業実行委員会への1億1千万円の負担金により実施した事業と、その成果は。

答　全国植樹祭にあわせ、秩父祭や川瀬祭の笠鉾・屋台13基を一斉公開し、２日間で約９万人が来場した。実行委員



の様子（本庁舎４階議場）

会の支出総額は約９００９万円で、残額約１９９３万円は市へ返還された。

問　７年度の主要事業で、西武秩父駅について、西武鉄道株式会社と官民連携により駅前活性化に向けた構想策定を行うとの内容で、官民連携事業推進事業委託料として８８０万円支出されているが、この構想の策定内容は。

答　構想の策定にあたっては、西武鉄道株式会社と協議を重ねながら、まちづくりを専門とするコンサルティング会社へ業務委託により策定した。

構想の内容については、都市計画マスタープランのまちづくり方針を踏まえつつ、西武秩父駅前および駅周辺施設の利用者属性や利用状況のデータを調査し、駅前に求められる機能を整備した他、観光案内所と新たな機能を集約した新施設の整備可能性の検討、有料駐車場を含む駅前全体の整備方針案、官民連携スキームの検討が含まれている。

問　空き家等実態調査業務委託料１１７７万円の委託先および調査結果は。

答　株式会社ゼンリン埼玉営業所に業務委託を行い、市内全域について空き家の可能性のある建物４１９８軒を対象に、公道等から外観目視による方法で、建物の利用状況や管理状況などを確認した。調査の結果、居住実態が確認できなかった建物は２５４４軒、居住実態が確認された建物が１２１４軒、空き地と確認されたものが２４９軒、現地での確認が困難であったもの１９１軒である。

問　土木費の市営住宅管理事業４４１７万１３２８円の内容は。

答　市営住宅は、８年４月現在、全36団地７１３戸。入居戸数は４２２戸、空き家戸数は２９１戸、入居率は約60％。大畑北住宅は、８年度設計業務委託により改修の設計を行い、９年度以降、順次改修工事を実施する予定である。

７年度国民健康保険特別会計決算

問　旧大滝国民健康保険診療所解体工事の進捗状況と、７１２０万円を翌年度へ繰り越した理由、完成予定は。

答　診療所や旧医師住宅、看護師寮、倉庫などの解体工事を進めているが、現場調査でアスベストが確認され、除去や関係手続きに予定以上の時間を要したため、工期を延長した。８年度は残る除去作業と建物解体を進め、10月30日の完成を予定している。

７年度介護保険特別会計決算

問　介護保険給付費準備基金から２億２千万円を取り崩した理由と、第９期介護保険事業計画との関係は。

答　介護給付費の増加を見込み、保険料の上昇を抑えるための財政調整財源として取り崩した。第９期計画では６年度から８年度の３年間で計６億４千万円の取崩しを見込んでおり、７年度の２億２千万円は計画どおりである。

７年度公設地方卸売市場特別会計決算

問　公設地方卸売市場の取扱数量・取扱金額は、前年度や経営戦略の見通しと比べてどのような状況か。また、市場関係事業者の状況は。

答　７年度の取扱数量は約５６７トン、取扱金額は約２億６２２２万円で、いずれも前年度を下回った。２年度と比べると、取扱数量は27・６％、取扱金額は11・４％減少している。生産者や買受人も減少しており、市場を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況である。



９月定例会本会議

７年度駐車場事業特別会計決算

問　三峰駐車場の利用台数と使用料収入が減少した主な要因は。

答　７年度の利用台数は18万８５０５台で、前年度から１万１８５９台減少した。主な要因は、７年７月に発生した国道１４０号の岩盤崩落による通行止めや、その後も二輪車の通行が制限されたことなどによるものと考えている。

問　三峰駐車場用地測量業務を実施した目的と、その成果は。

答　土日・祝日などに発生する渋滞対策として、駐車場拡張に向けた用地測量を実施した。駐車場手前の土地約２万５千平方メートルを対象としており、二瀬ダムの堆積土砂受入れ事業の進捗と合わせて整備を進めている。

７年度病院事業会計決算

問　市立病院の純損失・医業損失が前年度より拡大した主な要因は。

答　小児科や人工透析を中心とした外来患者数の減少により、外来収益が約７８８０万円減少したほか、人事院勧告等に伴い給与費が約１億３９１５万円増加したことが主な要因である。加えて、診療報酬が物価や人件費の上昇に十分対応していないことも影響している。

７年度下水道事業会計決算

問　下水道事業の建設改良費で繰越しや不用額が生じた理由と、管路等の改築事業の実施状況は。

答　入札不調や関連工事との調整などにより一部事業を翌年度へ繰り越したほか、契約差金などにより不用額が生じた。管路改築は計画約３１８メートルに対し約１１９メートル、マンホール改築は18か所に対し７か所の実施にとどまった。国の交付金が要望額を下回ったため、事業量を見直したことが主な要因である。

決算以外の主な議案

出産祝金支給条例の一部改正

趣旨　出産祝金を第１子12万円、第２子30万円、第３子以降50万円から、一律20万円へ改正する。

問　**見直しの理由と財政への影響は。**

答　出生順位による支給額の差が出生数の増加につながっていないことから、公平性や分かりやすさを重視し、一律20万円とした。現行制度を継続した場合と比べ、年間の支給総額は約１千万円減少する見込みである。

問　**今回の改定について経過措置等は設けているのか。例えば第３子が３月31日生まれの場合、支給額50万円、４月１日生まれの場合は支給額20万円。１日違いで差が出るという事になるのか。**

答　令和９年３月31日までに生まれた方は現行制度、令和９年４月１日以降に生まれた方は新制度となる。

討論

賛成

今回の改正により、すべての子どもの出生の日を基準に一律20万円が支給される。このことは誰の目にも分かりやすく、また、出生の実情を踏まえると、第１子として出生する子どもは相対的に多く、出産という最も負担と不安の大きい時期に手厚く支給するこの改正は、より多くの家庭に実感を持っていただける制度設計であると評価する。さらに、分割支給から一括支給への変更により、申請の負担も軽減される。しかし、制度の施行にあたり、境目となる期間においては、市民が混乱することのないよう、くれぐれも周知徹底と丁寧な説明をお願いしたい。また、改正後の制度が子育て世帯にとって実効ある支援となっているかどうか、支給状況と効果の検証を定期的に実施していただくよう要望し、賛成する。

8年度一般会計補正予算（第1回）

問　**水道基本料金の減免延長について、対象件数と減免額、国の交付金全額を充当する理由は。**

答　対象は水道契約者２万７８７８件で、一般家庭の13ミリ口径では２か月分１２９８円を減免する。より多くの市民に効果が行き渡ることや、秩父地域の４町とも同様の取り組みを行うことから、国の交付金を全額充当することとした。

問　**学校給食の賄材料費１６００万円を増額する理由は。**

答　米や牛乳などの価格上昇により、おかずに充てる割合が圧迫されているため、１食当たりの食材費を小学校２９０円から３３０円、中学校３４７円から３９０円に引き上げ、10月以降の半年分を増額するものである。

問　**結婚新生活支援事業を１１３４万２千円繰り越す理由と、所得制限撤廃分は含まれているのか。**

答　補助上限額に達するまで２か年度にわたり支給できる制度のため、８年度中に支給しきれない分を翌年度へ繰り越す。所得制限撤廃による新規対象者分は含まれておらず、９年度当初予算に計上する予定である。

問　**荒川・大滝地区の光ファイバー設備を民間へ移行する理由は。**

答　設備の老朽化や高度化に伴う市の財政負担を軽減するため、市が整備した一部設備をＮＴＴ東日本へ譲渡する。今回の６１４万９千円は、電柱や土地等の使用に伴う名義変更手続きなどに要する費用である。

問　**土地改良事業のため池測量調査業務委託料３９７万１千円の内容は。**

答　山田地内にあるため池について、現在受益者がいないため、廃止に向けての下流調査を行う。

問　**訪日旅客受入促進事業委託料４００万円の内容は。**

答　海外からクルーズ船で訪日する富裕層の宿泊ツアーとして、モデルコースを作成し、モニターツアーを行うもの。訪日旅客受入促進事業補助金として、国から２分の１が補助される。

8年度市立病院事業会計補正予算（第1回）

問　**市立病院の修繕料７００万円と、給食業務委託料３１６万８千円を増額する理由は。また、今後の給食業務委託はどのように見込んでいるのか。**

答　修繕料は、７月のスプリンクラー配管漏水事故に伴うエレベーターや火災感知器等の復旧と、今後予定する防犯カメラや天井等の修繕に充てる。給食業務委託料は、人材不足に伴う人件費等の増加により現行額では不足するため増額する。９年度以降は年約２％の上昇を見込み、契約期間は物価や人件費変動のリスクを考慮して３年間とする。



９月定例会で審議した議案の結果

	議案の件名	議決結果	会派ごとの賛否									
			市民５人	未来３人	新政２人	公明２人	無会派 関根	三澤	黒澤	大岩	宮川	土谷
7年度決算	一般会計歳入歳出決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	市立病院事業会計決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	下水道事業会計利益の処分及び決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	財産の取得（LED 照明器具）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	印鑑条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出産祝金支給条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	火入れに関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	一般会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公設地方卸売市場特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	駐車場事業特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市立病院事業会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	下水道事業会計補正予算（第２回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	核兵器禁止条約第１回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

市民：市民クラブ　未来：つなぐ MIRAI　新政：新政ちちぶ　公明：公明党　無会派：会派に属さない議員　※議長は人数に含まれていません。

○：賛成　×：反対

○意見書

９月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書１件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

核兵器禁止条約第１回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書

日本政府に対し、核兵器禁止条約第１回再検討会議へオブザーバーとして参加し、核兵器廃絶に向けた国際的議論に積極的に関与することを強く求める。



常任委員会の報告

総務委員会

９月定例会で付託された議案３件について報告する。

◆財産の取得（ＬＥＤ照明器具）

問　公共施設のＬＥＤ化はどのくらい進んでいるのか。また、リースと購入の金額とメンテナンスの内容は。

答　６月に調査した結果、約４分の１の施設がＬＥＤ化されていない。業者の試算によると、購入した場合は約１億５２４万円。リースでは約４７５５万円安価に照明設備が整備できる試算である。期間中に故障した場合の消耗品費などは業者の負担になる。

◆印鑑条例の一部改正

◆８年度一般会計補正予算（第１回）

問　スポーツ振興・推進事業の報奨金については、同一人物であっても年度が変わればまた申請できるのか。また、１件あたりの申請でいくらを予定しているのか。

答　年度が変われば再度申請することができる。日本オリンピック委員会または日本パラリンピック委員会により強化指定選手に認定された場合、ならびに日本スポーツ振興センターによりトップアスリートまたはユースアスリートとして認定された場合には20万円を、中央競技団体等から強化指定選手に認定された場合、もしくは中央競技団体等が行う全国競技大会において上位入賞を収めた場合には10万円を支援金としてそれぞれ交付する。

○以上３件は原案のとおり可決

まちづくり委員会

９月定例会で付託された議案５件について報告する。

◆火入れに関する条例の一部改正

問　本条例で規定する火入れの定義はどのようなものか。

答　土地の利用上の目的を持って立木、竹、雑草、堆積物を面的に焼却するもので、森林または森林の周囲１キロメートルの土地を造林のための地ごしらえ、開墾準備、害虫駆除、焼き畑、採草地の改良を目的とする場合に限り、市町村長の許可を受けて行うことができ、規模は２ヘクタールまでである。

◆８年度一般会計補正予算（第１回）

問　高温対策等園芸産地育成緊急支援事業費補助金の事業内容は。

答　この補助金は、高温や資材、原油価格の高騰の影響を受ける農業者に対し、高温対策技術および省エネルギー対策技術の導入費用を支援するものである。市内の施設園芸17者、露地園芸１者の18者を対象に、遮光、保温、遮熱資材の導入更新、スプリンクラーの導入を行うもので、補助率は２分の１以内、補助額は２０５２万２千円である。

◆８年度公設地方卸売市場特別会計補正予算（第１回）

◆８年度駐車場事業特別会計補正予算（第１回）

問　一般会計への繰出金の算定はどのように行ったのか。また、繰出し後の予備費で修繕等に対応できるのか。

答　当初予算では、年間事業費約４４００万円に対し、予備費が２億５千万円を超えていたことから、財務部から相談を受け、来年度以降の事業費を勘案し、１億５千万円を一般会計に繰り出すこととした。また、差し迫った修繕等の予定はなく、年間事業費と同額の４千万３千円を予備費として確保できれば対応できると判断した。



三峰駐車場

◆８年度下水道事業会計補正予算（第２回）

問　故障したマンホールポンプの設置後の経過年数および故障の原因は。保証の対象となるか。

答　当該ポンプは２年度に交換し、設置から５年で故障した。７年11月に異常警報があり、オイル漏れを防ぐメカニカルシールの劣化が原因で、耐用年数は15年であるが、保証期間は１年間で、保証の対象外である。

○以上５件は原案のとおり可決

決算審査特別委員会の設置

本委員会は、９月定例会に提出された７年度の各会計決算の議案を審査するための特別委員会です。秩父市議会では、２年に一度、決算審査特別委員会を設置し、閉会中に議案審議を行っています。

〈所属議員〉

委員長　堀口　義正
副委員長　宮前　昌美
委員　関根　浩
　　山中　佳子
　　原嶋　日巳佳
　　坂本　勝幸
　　菅沼　史明



文教福祉委員会

９月定例会で付託された議案10件について報告する。

◆子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の一部改正

◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問　保育従事者の犯罪事実の確認は、いつまでに行うという期限はあるのか。

答　新規採用の場合には、内定後、業務開始までに、すでに採用されている職員については、法の施行から３年以内に確認を行うこととされている。また、１度確認を受けた者についても、５年ごとの再確認が必要となる。

◆出産祝金支給条例の一部改正

問　制度変更の理由は。

答　年度ごとの第２子、第３子以降の出生数について、これまで大きな増減がない。出産祝金の支給額を一律化することで、子どものいる家庭を平等に支援し、制度をわかりやすくする。また、結婚新生活支援事業の所得制限を撤廃することで、若者の結婚を応援し、結婚から出産までを一体的に支援することで、少子化対策につなげたい。

◆８年度一般会計補正予算（第１回）

問　秩父祭屋台保存修理工事について、修理の内容は。

答　中近町会笠鉾の車輪の両サイドについている金輪をつなぐジョイント部分を各車輪３か所ずつ、計12か所に設置する。

問　妊婦ＲＳウイルス自動入力追加対応業務委託料の内容は。

答　妊婦へのＲＳウイルスワクチンについては、８年度から定期接種の対象となっており、その接種結果を市の健康管理システムに取り込むためのシステム改修である。

◆８年度国民健康保険特別会計補正予算（第１回）

◆８年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）

◆８年度介護保険特別会計補正予算（第１回）

◆８年度市立病院事業会計補正予算（第１回）

○以上10件は全て原案のとおり可決



一般質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。
各議員の写真の下にある二次元コードから、インターネット録画中継をご覧いただけます。

① 黒澤　秀之（無会派） p8 1 源流域・秩父にふさわしい環境行政へ 2 ロケーション誘致を活用した地域活性化	**⑤ 本橋　貢（公明党）** p10 1 学校教育・政治学習と議会傍聴 2 高齢者支援に関する法改正	**⑨ 大岩　優次（無会派）** p12 1 大規模災害における避難所対策 2 義務教育の完全無償化に向けて 3 お花畑児童遊園地のトイレの改修
② 原嶋　日巳佳（つなぐMIRAI） p8 1 市立病院の安全確保と危機管理 2 夏季休業中の子どもの居場所 3 酷暑における市民の居場所	**⑥ 山中　佳子（公明党）** p10 1 可燃ごみの減量化 2 奨学金返還支援制度 3 交通弱者の移動手段	**⑩ 三澤　颯（無会派）** p12 1 地域医療 2 秩父版CCRC構想 3 回覧板制度 4 災害発生時における要配慮者への支援
③ 宮前　昌美（市民クラブ） p9 1 病児保育（病中・病後児保育）支援 2 中学校部活の地域展開 3「夜間オンライン診療窓口」の実績 4「歴史まちづくり法」を活用した地域活性化	**⑦ 関根　浩（無会派）** p11 1 地域経済活性化に関する連携協定締結 2 市職員の年次有給休暇の取得率	**⑪ 宮川　浩司（無会派）** p13 1 農業経営支援事業 2 シニア起業の支援 3 個人事業主・中小企業の事業承継
④ 小松　穂波（新政ちちぶ） p9 1 ロケツーリズムの促進 2 ちちぶ乾杯共和国 3 秩父市総合防災訓練 4 書かない窓口　他	**⑧ 菅沼　史明（市民クラブ）** p11 1 秩父市総合振興計画 2 稼ぐまちづくり	



源流域・秩父にふさわしい環境行政へ



無会派　黒澤（くろさわ）　秀之（ひでゆき）

問　人口減少が進む中、これまで地域の力で当たり前に守られてきた生活環境が、少しずつ維持しにくくなっている。だからこそ、行政が方向性を示し、市民・事業者とともに地域の暮らしを守っていくことが大切だと考える。本市の環境保全条例には、市民の請願を出発点とする経緯がある。この原点に立ち返り、市民の声を生かしながら、これからの生活環境をどう守っていくのかを示すべきではないか。また、荒川の最上流に位置する本市には、森林や水源を守り、その恵みを下流へつなぐ責任がある。こうした源流域としての責任と役割を、今後の環境行政や条例の基本的な考え方として、より明確に位置付けるべきではないか。

答　源流域の役割は、環境行政や条例を考える上で重要である。森林や水環境の保全は荒川流域全体に関わり、関係部門との連携や幅広い世代の声の反映も重要である。

問　環境基本条例と環境保全条例は制定から約20年。この間、気候変動、生物多様性、外来生物、脱炭素など環境課題は大きく変化し、個別の計画や施策は見直されても、条例全体は点検されていない。古いから改めるのではなく、今の環境課題や施策、荒川の源流域という地域特性に合っているかを総合的に点検し、必要なら条例改正につなげるべきではないか。

答　両条例は環境行政の基本的な枠組みとして役割を果たしてきた。今後、環境課題や計画・施策、源流域としての役割との関係を確認し、見直すべき点があれば、条例改正も含め検討する。



秩父の自然を守り、荒川流域の暮らしを守る

◎ロケ誘致を活用した地域活性化

市立病院の安全確保と危機管理



つなぐMIRAI　原嶋（はらしま）　日巳佳（ひみか）

問　7月に発生した漏水事故を受け、施設・設備の老朽化が進む現在の市立病院を、新病院が完成するまでどのように安全に維持し、必要な医療を提供していくのか。

答　施設・設備の老朽化が進み、配管を含め、どの設備がトラブルを起こしてもおかしくない状況である。医療機能を維持・継続できるよう、緊急性や重要性を考慮し、施設・設備の維持管理に努めていく。

●夏季休業中の子どもの居場所

問　夏季休業中に学童保育を利用している児童はどの程度いるのか。また、学童を利用していない子どもも含め、安心して過ごせる居場所を今後どのように確保していくのか。

答　８年度は６５８人が学童保育室を利用している。学童以外では中村・下郷児童館を利用できる。今後、保護者への居場所のニーズの聞き取りなどを検討し、安心・安全に過ごせる場所の必要性について研究していく。

●酷暑における市民の居場所

問　酷暑の中、市民が暑さを避けることのできる場所は市内にどの程度あり、その場所は市民に十分周知されているのか。

答　クーリングシェルターとして、市所管施設21か所、民間事業所10か所の計31か所を指定し、各中学校区に１か所以上設置している。今後、制度や取り組みを周知するとともに、設置場所の情報発信に努めていく。



秩父市立病院

「夜間オンライン診療」の実績と今後の課題

市民クラブ　宮前（みやまえ）　昌美（まさみ）



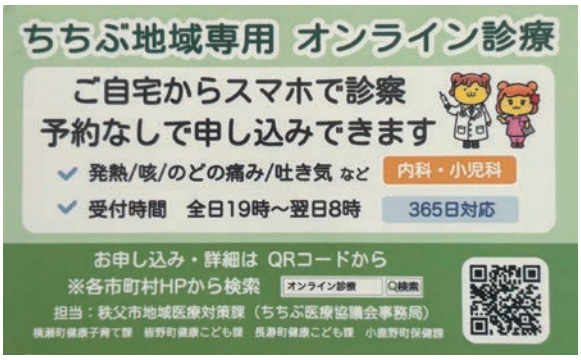
問　**「ちちぶ地域専用・夜間オンライン診療」を開始して1年が経過した。小児科だけではなく内科も対象となり、急な発熱や病状の悪化などで、夜間に救急車を呼ぼうか迷ったときなどに、自宅からオンライン（ビデオ通話）で診察が受けられる。**

**　オンライン診療の利用者数や、オンライン利用による夜間救急出動の減少割合、利用者の年齢層など、この1年間の実績は。**

答　８年８月までの14か月間で253件が診察完了した。利用者の年齢層は、15歳以下の子どもが６割で、30代から40代の利用が多いが、90代の方の利用実績もあり、年齢に関わらず利用されている。夜間における救急車の出動件数は、軽症者の利用が14％減少し、救急病院への搬送件数は減少傾向となった。

問　**オンライン診療は、申し込み時から15分ほどで医師の診察を受けられるため、待ち時間が少ない。また通院や移動の負担がなく、交通費も不要で、他の患者と接触しないため感染症リスクも軽減できる。地域全体の医療体制づくりのためにも、日中のオンライン受診や健康相談など、市民が気軽に利用できる体制を検討できないか。**

答　かかりつけ医の対面での診療体制を基本としたうえで、夜間オンライン診療や、24時間相談ができる埼玉県救急電話相談＃7119などを活用し、安心して医療が受けられる体制を整備していく。



ぜひお気軽にご利用ください。

◎病児保育支援
◎「歴史まちづくり法」を活用した地域活性化
◎中学校部活の地域展開

秩父市における ロケツーリズムの促進

新政ちちぶ　小松（こまつ）　穂波（ほなみ）



問　**ロケツーリズム促進の考えは。**

答　ロケーションサービスの活動はさまざまな有益な要素がある。今後、市がさらに魅力があり話題性の高い観光地として誘客を進めるうえで重要な取り組みであるため、今一度ロケーションサービスについて、現状を検証するなど前向きに研究する。

●ちちぶ乾杯共和国

問　**今後の課題と展望は。**

答　酒造・飲食・宿泊などの関係事業者と意見交換を行い、リブランディングの方向性を整理する。来訪者の周遊や消費、再来訪に繋げていけるよう取り組み、笑顔で乾杯できる街づくりを進めていく。

●秩父市総合防災訓練

問　**ハザードマップを活用した避難誘導訓練の考えは。**

答　「防災ハザードマップ」を活用し、各町会の実情を加味した避難訓練を実施することは有効な対策である。来年度の総合防災訓練について町会長に説明する際には、避難所までのルートと危険箇所をイメージしながら訓練会場に集合する方法も検討していく。

●「書かない窓口」

問　**導入を見送った理由は。**

答　導入予定だったシステムは機能面や安定性に課題があるほか、職員の事務負担軽減など、業務効率化に繋がらないと判断し、年度内の導入を見送ることとした。市民の利便性と職員の業務効率化の両方を実現できるよう、十分な業務改革を行ったうえで「書かない窓口」導入の検討を進める。



民間で開設している撮影情報無料検索サイト「チブロケ」から「秩父公園橋キャンプベース」

学校教育・政治学習と議会傍聴

公明党　本橋（もとはし）　貢（みつぎ）



問　**主権者教育は社会参画の力を育むため、暗記中心ではなく対話や議論を通じ身近な課題の解決策を考える授業が行われる。民主主義は教科書で学ぶだけでは十分ではなく、実際の議会で議員の議論や行政の説明責任を体験することが重要である。他自治体でも議会傍聴等を実施している。インターネット録画中継での議会傍聴や市議会だよりなどを活用した政治学習はできないか。また、どのような主権者教育を実施しているのか。**

答　民主主義の基本的な仕組みを理解し、自ら意思決定する力を育てる重要な学習であると認識している。中学３年生の社会科公民分野で学ぶ。小学生においても市役所や議場見学を行い、６年生で政治の仕組みや働きを学ぶ。議会に関心を持つことは、地方自治を学ぶうえで非常に意義深いものと認識している。生徒一人一人に貸与されているタブレットを活用し、議会のインターネット録画中継を社会科授業で活用できるよう研究する。

●高齢者支援に関する法改正

問　**社会福祉改正法を踏まえた身寄りのない高齢者支援は、10年６月までに社会福祉協議会が主体となって進める。市としてどのような支援体制を整備するのか。**

答　高齢者の単身世帯は増加傾向にある。今後の国や県のスケジュールを踏まえ、相談窓口の設置や支援内容について、県内で事業に関する検討会を実施する。事業の担い手として期待される社会福祉協議会などと計画的に連携し、実務対応の開始に向け準備を進める。



小中学校で使用されているタブレット

奨学金返還支援制度『中小企業奨学金返還支援補助金』

公明党　山中（やまなか）　佳子（よしこ）



問　**日本学生支援機構から奨学金を貸与され返還している若者の経済的負担軽減と、人材確保を目的とした「中小企業奨学金返還支援補助金」制度とは。**

答　県・市内の中小企業に対し、県と市でそれぞれ企業負担額の２分の１、年間上限９万円、合わせて最大18万円を最大６年間補助する。企業から手当として社員に支払われ、若者の負担軽減と転入・定住の促進効果が期待できる。

問　**利用実績と課題は。**

答　市内企業では、１社２人がこの制度を利用している。利用者数が少ない状況にあるため、関係団体への積極的な周知に努め、各種企業訪問の際に丁寧な情報提供を行い、利用促進を図っていく。

●可燃ごみの減量化に「生ごみ処理機購入補助の導入」を

問　**生ごみの約７割が水分であり、その生ごみを減量することが可燃ごみの減量につながる。「生ごみ処理機」の購入補助は導入できないか。**

答　限られた財源であり、費用対効果を考慮し、ごみを発生させない効果的な減量化に取り組む。

●交通弱者の移動手段

問　**８年度から本格運用の大滝地域の公共ライドシェアを、他地域の移動手段として導入できないか。**

答　大滝地域は市営バス川又線の廃止に伴う、交通空白地対策として実施した。公共ライドシェア対象地域の拡大は、駅やバス停まで相当な距離があるなど交通空白地域が対象になるため、今後は地域公共交通計画に基づき、交通事業者等と連携を図りながら検討する。



コンポスト



生ゴミ処理機

地域経済活性化に関する連携協定締結
人手不足解消・若年層の労働機会創出

無会派　関根（せきね）　浩（ひろし）



問　**市は7年9月22日、株式会社タイミーと地域経済活性化に関する連携協定を締結した。このことは人手不足解消・若年層の労働機会創出にどうつなげていくのか。**

答　市内企業が直面している「深刻な人手不足」への対応は緊急の課題である。まずは、市内事業者の人手確保に即効性のある補完的な施策として位置づけている。

問　**タイミーが掲げるスポットワークを活用して、どのように常用雇用へと移行させるのか。また、労働者保護と安全管理についてトラブルや事故が発生した場合、市として実態把握や再発防止にどう関わるのか。**

答　スポットワークを通じて、求職者が市内事業所や仕事内容の魅力を体験し、事業者側もその人材を評価することでミスマッチを防ぎ、双方が納得したうえでの「常用雇用・正規雇用への移行」を促進する取り組みにつなげる。また、トラブルが発生した場合には、関係機関とも連携しながら、事業者への指導や求人情報の改善などの再発防止策を検討する。

●市職員の年次有給休暇

問　**職員の有給休暇の取得率は。また、夏季休暇の半日単位での取得は可能か。**

答　7年度の取得日数は13・7日である。取得目標を「16日以上」としており目標には達していないが徐々には増えている。今後、より取得しやすくするため、具体策として各職場での業務量の調整や適正な人員配置に努めたいと考えている。また、夏季休暇は連続した複数日の取得を促すため1日単位としている。



ハローワーク秩父

秩父市総合振興計画

市民クラブ　菅沼（すがぬま）　史明（ふみあき）



問　**市合併当時の将来像「まち輝き　むら際だち　森と水のちから　ほとばしる　助けあい　温もりのまち　ちちぶ」を見たとき、現在住んでいる旧荒川村がどのようになっているのか、と思い返すにあたり、「むら際だち」というフレーズは分かりやすいものだった。その後、第2次、第3次と計画が進む中で、将来像はどのように変遷してきたのか。また、その変更理由は。**

答　市町村合併後の平成18年10月に策定した第1次総合振興計画は、合併時に策定した、新市まちづくり計画の将来像を踏襲し社会構造の変化へも対応し、次世代へ持続可能な豊かな社会を引き継ぎ、すべての市民が幸せに暮らせる秩父市とするため「環境・観光文化都市ちちぶ」とした。

続いて、平成28年3月に策定した、この先10年を計画期間とする、第2次総合振興計画は、新市まちづくり計画の計画期間中であるため、第1次計画の将来像を継承しつつ、新たに豊かさを加え、「豊かなまち、環境文化都市ちちぶ」とした。

次に、令和8年3月に策定した、この先8年を計画期間とする、第3次総合振興計画は、市民が笑顔で安心して暮らし続けることができるまち、とするため「笑顔がつながる、自然と文化のまち、ちちぶ」を将来像と定めた。

この将来像は、市民参加のワークショップの意見を反映し「総合振興計画審議会」や市議会議員により構成された「総合振興計画調査特別委員会」などにより、それぞれで協議、承認され、パブリックコメントを経て、決定した。





お花畑児童遊園地トイレの改修

無会派　大岩（おおいわ）　優次（ゆうじ）



問　**今後の改修予定は。**

答　お花畑児童遊園地トイレは、まちづくり公園課が管理するトイレである。個室トイレは大半が和式便器で、一部の個室や手洗い場は故障により使用禁止となっている。今後は、住民サービスや観光施設の向上を図るため「建物を生かす形で改修」する方式で、９年度に設計委託費を予算要求していく。改修まで時間を要するため、多目的トイレの修繕やツバメの営巣防止策を進める。

●義務教育完全無償化に向けて

問　**入学時の費用、教材費、修学旅行費などの負担軽減を図ることはできないか。**

答　市は現在、小学校入学から中学校卒業までに１人10万円、学校給食費と合わせると総額３億７００万円の支援により負担軽減をしている。

　入学時の費用、教材費、修学旅行費を公費で全額負担すると、小中学校の合計で毎年、さらに約４億８１００万円程度必要になる。そのため、さらなる負担軽減は総合的に検討が必要である。

●大規模災害における避難所対策

問　**対策は。**

答　市では、災害規模を考慮し、最大55か所の「指定一般避難所」を設けている。最初に開設する避難所は27か所であり、内訳は旧秩父市管内が小中学校や公民館を対象とする24か所、吉田、大滝、荒川管内が総合支所への設置で３か所である。避難所における備蓄備品は倉庫内にある。食料や飲料水は備蓄せず、別の防災倉庫、総合支所で一括管理している。



お花畑児童遊園地のトイレ

回覧板制度

無会派　三澤（みさわ）　颯（はやて）



問　**回覧板制度は、自治会や町内会活動の情報伝達手段として活用されてきた。地域住民同士のつながりを支える重要な仕組みでもある。しかし近年では、自治会加入率の低下や高齢化、共働き世代の増加などにより、回覧板を回すこと自体が負担との声もある。**

　情報を受け取るまでに時間がかかる事や、不在世帯で回覧が滞ること、感染症流行時には接触回避の観点からも見直しが求められる。自治会の負担軽減策やデジタル化への対応は。

答　市では回覧を安易に町会へ依頼することなく、できる限り市報やホームページなどを活用し、回覧の必要性を精査するなど町会の負担軽減に努めている。

　回覧板は市からのお知らせだけでなく、町会独自のお知らせや近隣学校など各種団体からの情報も含まれ、町会の自主的な活動として運営されている。そのため、町会の自主性と地域内の合意形成を尊重しながら慎重に進める必要がある。また、アナログとデジタルの二重運用が町会の新たな負担とならないよう、十分な検討が必要である。

問　**大滝地域の回覧板の現状は。**

答　大滝地域は、地理的条件から隣地との距離が遠く、自家用車などを利用しなければ配布できない地区もある。また、高齢化の影響もあり、配布に時間と労力を要する事が課題である。そのため、大滝支所では回覧板を原則月一回としている。負担軽減策として、各戸配布やタブレットの活用も考えられるため、回覧板の役割を考慮しつつ負担を軽減する取り組みを研究していく。



創業者の理念を引き継ぐために



無会派　宮川（みやがわ）　浩司（ひろし）

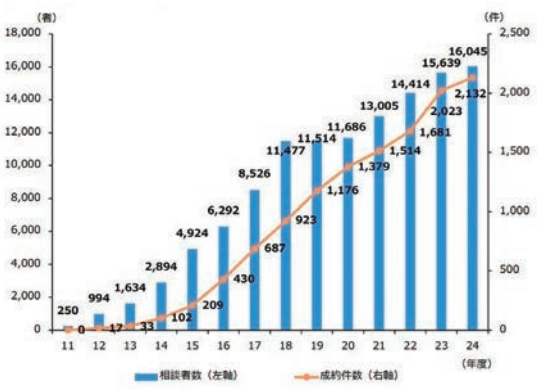
問　長年にわたり地域で雇用を生み、経済や暮らしを支えてきた地元の事業者や中小企業が、高齢化や後継者不足により、事業そのものは成り立っているにもかかわらず経営者の世代交代ができない課題を抱えている。事業承継の具体的な支援策は。

答　事業承継の実態は複雑で、経営者が何から手をつければよいのかわからない、と悩み孤立してしまうケースもある。また、事業承継をマイナスなイメージではなく、長年かけて築いた地域との信頼性や、培われてきた独自の技術を次世代へと引き継ぎ、新たな飛躍のきっかけにもなる前向きなものであるとの意識づけが重要と考える。そのため、地域の事業者を専門家が直接訪問して悩みを聞き、助言をするなどの伴走型訪問支援を実施している。

●シニア起業の支援

問　働き方や人生設計の考え方が変わり、定年後も働き続けたい、新たな事業を始めたい、というシニア層が増えつつある。これまでの経験や技術、人脈を生かして新たな経済活動を行うことは、本市にとっても大きな財産になり得る。シニア層のこれまでの創業支援事業の利用割合は。

答　シニア層が、生涯現役として起業に挑戦することは、地域経済の活性化や活力ある地域社会の維持につながる。しかし、創業塾などの受講率や支援補助金の利用率などは、顕著に増加していない。今後増加の可能性はあるため、引き続き注視していく。



事業承継・引継ぎ支援センター相談者数及び成約件数

出典：2026年中小企業白書
◎農業経営支援事業

市議会を傍聴してみませんか？

傍聴される際に、特別な手続きや事前の予約は必要ありません。傍聴を希望する日に、市役所本庁舎４階の「傍聴受付」にて、資料を受け取り、傍聴席にお入りください。

市政を知る機会として、ぜひ、お気軽にお越しください。



12月定例会の予定

日程	議事
11月18日(水)	開会、議案説明
24日(火)	議案に対する質疑
25日(水)	文教福祉委員会
26日(木)	総務委員会
27日(金)	まちづくり委員会
12月７日(月) ８日(火) ９日(水)	一般質問
15日(火)	委員長報告、採決、閉会

※各日、午前10時開会予定です。
※議場は、本庁舎の４階です。
※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

編集後記

「秋雨」や「秋霖」などの言葉が使われてきたように、秋に入ると雨が多くなるのは致し方ないものではありますが、とはいえ、今年の九月の長雨は異例でした。

東日本では、統計開始以来９月では最少となる日照時間を記録する地域が相次いだそうです。

雨が続くと、気分も滅入り、からりと晴れた青空が待ち遠しいものですが、大自然の降雨をどのように受け止めるのかは、人の心の持ち方で変化します。雨の音はリラックス効果があるそうですし、コーヒーやお酒を嗜みつつ、じっくりと読書をしながら、普段はなかなかできない静かな時間を過ごしてみると、雨の日がいつもと違った贅沢で貴重な秋のひとときになるかもしれません。

令和８年11月　宮川　浩司　記

編集委員

委員長　本橋　貢
副委員長　宮川　浩司
委員　関根　浩
三澤　颯
小松　穂波
原嶋　日巳佳
菅沼　史明
髙野　宏彦
木村　隆彦

第１５回

事前申し込み不要

秩父市議会報告会

～市民の意見を聞く会～

日時　令和９年２月１４日（日）　午後２時～３時３０分

会場　秩父宮記念市民会館　けやきフォーラム



議会の日頃の活動状況を知っていただくとともに、市民の皆様のご意見やご提言を直接お伺いし、今後の議会運営に反映させるため、議会報告会を開催します！

市民の皆様のご参加をお待ちしております！

主な内容

１　**各常任委員会からの報告**

総務委員会 ／ まちづくり委員会 ／ 文教福祉委員会

２　**市民の意見を聞く会（意見交換会）**



主催：秩父市議会

お問い合わせ：秩父市議会事務局　TEL 25-5224

市議会ホームページ
はこちらから